



2015年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2014年7月2日

上場会社名 株式会社 サンデー

上場取引所 東

コード番号 7450 URL <http://www.Sunday.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 暢朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 成澤 真一 TEL(0178)47-8511

四半期報告書提出予定日 2014年7月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2015年2月期第1四半期の連結業績(2014年3月1日～2014年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年2月期第1四半期	12,748	7.8	460	136.7	474	142.7	286	140.3
2014年2月期第1四半期	11,823	—	194	—	195	—	119	—

(注1) 包括利益 2015年2月期第1四半期 286百万円(145.5%) 2014年2月期第1四半期 116百万円(—%)

(注2) 2期前の2013年2月期第1四半期は、2012年2月21日から2012年5月20日でありましたが、2期前の決算期変更に伴い前2014年2月期第1四半期は2013年3月1日から2013年5月31日までとなり、対前期増減率については記載しておりません。

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2015年2月期第1四半期	26	58	26	55
2014年2月期第1四半期	11	06	11	06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2015年2月期第1四半期	31,397	9,128	29.0
2014年2月期	29,220	8,993	30.8

(参考) 自己資本 2015年2月期第1四半期 9,110百万円 2014年2月期 8,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2014年2月期	—	0 00	—	15 00	15 00	00
2015年2月期	—					
2015年2月期(予想)		0 00	—	15 00	15 00	00

(注) 直近に公表されている配当予想の修正有無: 無

3. 2015年2月期の連結業績予想(2014年3月1日～2015年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	26,000	6.7	805	0.1	805	0.2	490	0.8	45	54
通期	48,000	2.3	1,280	0.9	1,290	1.7	740	0.9	68	78

(注) 1. 直近に公表されている業績予想の修正有無: 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規一社（社名） 、除外一社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |
- (4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	2015年2月期1Q	10,764,700株	2014年2月期	10,764,700株
期末自己株式数	2015年2月期1Q	5,483株	2014年2月期	5,395株
期中平均株式数（四半期累計）	2015年2月期1Q	10,759,273株	2014年2月期1Q	10,759,412株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については〔添付資料〕P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2014年3月1日～2014年5月31日)における東北地域の経済は、東日本大震災の復興需要本格化、政府の経済対策および日銀の金融緩和を背景に、緩やかな回復基調の兆しが見られるものの、円安による原材料価格の上昇ならびにエネルギーコストの高騰等、懸念材料が払拭されない状況が続きました。小売業界におきましては、消費税引き上げ前の駆け込み需要により、百貨店・専門店においては高額品が、ドラッグストア等においては日用品を始めとする消耗品が好調となりました。一方で、駆け込み需要の反動減の影響を受ける業態もあり、消費の2極化と企業間格差の拡大が進行してまいりました。このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)におきましては、お客さまの利便性を高めるため「近くて便利。日々の暮らしに役立つ衣食住を手頃な価格でご提供する店」として東北の農業エリアに展開する新業態「ホームマート」の新店、ホームセンター既存店の改造、新しい商品とサービスの提供、大雪による修繕需要への対応、季節商品の早期展開に努めてまいりました。また、イオンのブランド「トップバリュ」商品の拡販および自社開発商品の強化を図り、「グリップ省力鎌」「培養土」「3枚重ねトイレトペーパー」等が好調に推移いたしました。こうした取り組みにより、農業資材・ガーデニング用品・苗木・DIY用品・住宅設備・作業衣料・日用品・リカーを中心に昨年を上回りました。

新規新店につきましては、「ホームマート」の福島県初店となる5号店「矢吹店」(福島県矢吹町)ならびに青森県内3店舗目となる6号店「南郷店」(青森県八戸市)の2店舗を4月にオープンいたしました。両店舗は、冷凍食品・日配品も取り揃え、お買い上げいただいた商品や電話・FAXでのご注文に対し、従業員がお客さまのご自宅まで商品をお届けする宅配サービス「SUN急便」を実施し、ご好評いただいております。また、新しいホームセンターの構築に向け、4月に青森浜田店、5月に弘前安原店をリニューアルいたしました。両店舗ともに、登録販売者を配置し一般医薬品の販売をスタートさせ、介護用品およびヘルス&ビューティーケア用品と融合した売場を構築するとともに、ワインと植物を組み合わせたライフスタイル提案、キッズ売場新設、室内リフォーム強化、そして青森浜田店には、車検もできるカーピット新設等、新しい取り組みを進めております。また、お得なポイントカード「マイカード」、法人向け掛売りに対応した「法人カード」、収穫払いに対応した農家向けクレジットカード「アグリッシュカード」の会員数を伸ばしてまいりました。さらに、(株)サンデーのホームセンター全46店舗におけるイオングループの電子マネー「WAON」の展開、クレジットカード「イオンサンデーカード」の分割無金利実施等、各種カードの強化を図っております。なお、当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は86店舗(株)サンデーのホームセンター計46店舗、ホームマート計6店舗、イオンスーパーセンター(株)へのコンセッションナリー参画15店舗、子会社(株)ジョイ19店舗)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の連結売上高は127億48百万円(前年同期比9億25百万円の増)、連結営業利益は4億60百万円(前年同期比2億66百万円の増)、連結経常利益は4億74百万円(前年同期比2億78百万円の増)、連結四半期純利益は2億86百万円(前年同期比1億66百万円の増)となり、増収増益を達成いたしました。さらに、連結営業利益、連結経常利益、連結四半期純利益ともに過去最高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して21億76百万円増加し313億97百万円となりました。これは主に新店出店及び春商戦による商品在庫増加8億24百万円、売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加2億56百万円、現金及び預金の増加2億79百万円、新店の建設工事等による有形固定資産の増加6億68百万円等によるものであります。

負債については前連結会計年度末に対して20億40百万円増加し222億68百万円となりました。これは主に商品仕入れ増加と期末日が金融機関の休日のための手形未決済による支払手形及び買掛金の増加17億62百万円、リース債務の増加2億64百万円等によるものであります。

純資産については前連結会計年度末に対して1億35百万円増加し91億28百万円となりました。これは主に四半期純利益2億86百万円の計上と配当金の支払い1億61百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2014年4月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	929,896	1,209,685
受取手形及び売掛金	328,565	585,117
商品及び製品	8,599,621	9,424,025
原材料及び貯蔵品	71,311	101,558
繰延税金資産	258,808	310,629
未収入金	200,426	244,385
その他	213,393	234,913
流動資産合計	10,602,023	12,110,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,786,565	6,903,950
機械装置及び運搬具(純額)	16,820	19,515
土地	8,498,525	8,498,525
リース資産(純額)	36,311	301,095
建設仮勘定	121,241	328,585
その他(純額)	510,533	586,339
有形固定資産合計	15,969,997	16,638,011
無形固定資産		
ソフトウェア	87,919	85,032
その他	27,664	27,534
無形固定資産合計	115,584	112,566
投資その他の資産		
投資有価証券	88,365	88,616
長期貸付金	521,945	488,635
長期前払費用	285,262	309,517
差入保証金	1,149,349	1,162,612
繰延税金資産	471,053	468,813
その他	43,946	45,461
貸倒引当金	△26,871	△27,510
投資その他の資産合計	2,533,050	2,536,146
固定資産合計	18,618,632	19,286,724
資産合計	29,220,655	31,397,040

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,778,121	10,540,968
短期借入金	2,600,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,467,316	1,523,816
リース債務	16,783	17,663
未払金	631,681	861,173
未払法人税等	539,278	241,792
賞与引当金	344,583	534,501
役員業績報酬引当金	25,579	9,203
ポイント引当金	177,462	179,336
リース資産減損勘定	11,188	7,750
設備関係支払手形	155,387	264,014
その他	927,230	851,641
流動負債合計	15,674,612	17,331,861
固定負債		
長期借入金	3,425,620	3,523,916
リース債務	19,696	283,325
退職給付引当金	372,697	360,537
債務保証損失引当金	47,108	46,215
リース資産減損勘定	1,687	1,205
資産除去債務	473,659	486,626
その他	212,188	234,517
固定負債合計	4,552,657	4,936,345
負債合計	20,227,269	22,268,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,218	3,240,218
資本剰余金	3,254,597	3,254,597
利益剰余金	2,492,473	2,617,114
自己株式	△4,005	△4,082
株主資本合計	8,983,283	9,107,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,352	2,604
その他の包括利益累計額合計	2,352	2,604
新株予約権	7,750	18,381
純資産合計	8,993,385	9,128,833
負債純資産合計	29,220,655	31,397,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	11,823,112	12,748,757
売上原価	8,371,039	8,862,611
売上総利益	3,452,072	3,886,146
販売費及び一般管理費	3,257,369	3,425,294
営業利益	194,702	460,851
営業外収益		
受取利息	1,788	1,470
受取地代家賃	17,594	16,507
受取手数料	1,972	1,862
その他	4,953	17,512
営業外収益合計	26,307	37,353
営業外費用		
支払利息	17,810	13,969
賃貸費用	7,284	6,702
その他	455	3,208
営業外費用合計	25,549	23,881
経常利益	195,461	474,323
特別損失		
システム移行費用	—	10,684
特別損失合計	—	10,684
税金等調整前四半期純利益	195,461	463,638
法人税、住民税及び事業税	102,149	227,187
法人税等調整額	△25,729	△49,580
法人税等合計	76,420	177,607
少数株主損益調整前四半期純利益	119,040	286,030
四半期純利益	119,040	286,030

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,040	286,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,417	251
その他の包括利益合計	△2,417	251
四半期包括利益	116,623	286,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,623	286,282
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。